

トランスナショナルな
民芸運動を通して
再考する
工芸館のコレクション

講師 菊池 裕子氏 (金沢美術工芸大学教授)

日時 令和5年2月12日(日) 13:30~15:00
(開場13:00)

会場 国立工芸館 多目的室

定員 80名 (会場40名、オンライン参加40名、無料・先着順・要予約)

お申込み・お問い合わせ

兼六園周辺文化の森等活性化推進実行委員会 (石川県文化振興課内)
TEL 076-225-1371 (9:00~17:00)

WEB申込はこちら



○概要

長くロンドン芸術大学において、視覚文化研究の分野で教鞭をとり、民芸運動のポストコロニアル研究で世界に知られ、東アジアのデザイン史という新しい枠組による歴史構築にも挑戦している金沢美術工芸大学教授の菊池裕子氏をお招きします。

日本を中心とする近現代の工芸及びデザイン作品を収蔵する国立工芸館のコレクションを、国家の枠組みを超えた「トランスナショナル」の視点から再考していただきます。

○講師経歴



菊池 裕子氏

金沢美術工芸大学教授

東京都出身 日米英の大学で文学や美術史を学ぶ
1994年 ロンドン芸術大学教授を務める
(～2019年)

2005年 トランスナショナルアート研究所を設立

2019年 工芸を巡り、何かが起こりつつある金沢に
惹かれ、金沢に移住

その後、金沢美術工芸大学芸術学
SCAPE専攻教授を務める

○アクセス

会場：国立工芸館 多目的室（金沢市出羽町3-2）

①バスの場合

金沢駅兼六園口から「広坂・21世紀美術館(石浦神社前)」下車、徒歩約5分。
(バス後方向すぐの広坂交差点を右折し、坂をのぼると右手にあります。)

②お車の場合

県立美術館前や県立能楽堂前の「文化施設共用駐車場」(無料)をご利用ください。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員の変更や延期、中止の場合がございます。事前に「兼六園周辺文化の森」HPのお知らせ(右記QRコード)にて最新の情報をご確認いただきますようお願いいたします。

